



研究機関研究員

今できる経験を！経験が人をつくる

塚田由紀(独立行政法人 交通安全環境研究所 自動車安全研究領域 主席研究員)

仕事の内容とやりがい

毎年数々の新しい車が発売されますが、自動車の機能1つ1つに、安全を担保する法規を国が定めていることをご存知ですか？私の仕事は、自動車のライトの法規を決める際に必要なデータを提供し、具体的な数値を決め、その審査方法を考案することです。更に、自動車は国際商品ですので、日本の法規を国際調和させる活動もサポートしています。常に技術の先を行かないといけない緊張感はあるものの、私の立場は安全だけに特化できるので、新技術の真価が分かり易く面白いです。海外同業者との交流も、新しい価値観の発見の連続で刺激的です。

仕事と生活のバランス

私は実家の隣に住んでいて、子供は小学校から実家へ帰宅し、私の帰宅後に自宅に帰る、という恵まれた生活をしています。子供が両親の所にいると、つい帰宅が遅くなり、これはこれで問題かも。ただ、将来は両親の面倒をみる覚悟もあります。時間配分は難しいけれど、仕事が順調だと家庭生活も順調になる気がするので、両方とも100%を目指したいと思っています。徹夜することもあります。普段は朝早めに出勤して、仕事のリストアップ、順番を決めて、頭の冴えているうちに複雑な仕事をすなど、時間効率が上がるよう日々実験中です。

進路決定のきっかけ

授業の実験が大好きでした。将来の自分像は描けなかったけれど、実験は学校でしかできないと思って、大学では物理を専攻しました。大学での実験は数段奥が深く、直感を信じて正解と思いました。卒業研究での実験は、自分のもの！偉い先生より、手がけた自分が一番よく分かっているのです。そんなところにも魅力を感じ、博士課程まで進学しました。卒業間際に現職場で研究職の募集があり、それが正に私の研究内容と一致していたので、自分の能力の低さを度々感じたけれど、自分が社会に必要とされている気がして嬉しかったことが懐かしいです。

進路選択についてのメッセージ

あまりに遠い将来のことや数年先の就職先にとらわれず、自信をもって、直感を信じて進路を決めて大丈夫。そして、たとえ流されてしまったとしても、大丈夫です。私はこれまで、周りに流されたという話は聞いても、自分の選択してきた道を否定する人に会ったことがありません。人間とはそういう生き物なのだと思えます。むしろ、自分探しは一生続くのです。その代わり、与えられた状況の中でも、自分自身がいつもポジティブでいられる努力はするべきだと思います。それが結局、将来の自分の選択肢を広げていくことにつながると考えています。

海外留学・勤務を通じて得たこと・得したこと

現在進行形の在外研究ですが、一番のメリットは幅広い真の人脈作りができることだと感じています。私のいる大学は国の仕事も担っており、様々な所属の人が出入りしています。その人たちと一緒に作業し、同じ課題を共有することでお互いの信頼度は深まりましたし、大学の学生たちがそれぞれ巣立った後も関係が続くような気がしています。これは、今後の私の展開の幅を広げてくれると思います。もう一つ、習得して帰りたいものがネゴシエイション力です。ドイツ人はとにかく議論好き。毎日議論の訓練をしている気がしますが、今のところ惨敗です。

海外の女性研究者の活躍と位置づけについて感じたこと

ドイツの子供は小学校4年生で進路を決めます。大学進学率は約20%で、いわゆる受験はなく自由に大学を選択できます。それでも、私のいる理系大学は女性が少なく、数少ない女性教授は一目おかれる存在です。大学に保育施設もありますが、お母さん達の仕事と育児に関する悩みは日本と同じようです。また、キャリアアップの目的で、子供を母国のご主人に預けて留学している女性に数人会いました。正直な話、研究を仕事ととらえ、研究情熱が感じられず、日本の私の友達の方がイキイキしている！でも、仕事を辞めるという選択肢が頭がない分、強くて逞しい感じがします。

海外留学・勤務を決めたきっかけについて

現在、ドイツ・カールスルーエ工科大学に客員研究員として1年程度の予定で在籍しています。自動車の技術はドイツが牽引している面もあり、これまでの仕事の延長で派遣が決まりました。小学1年生の息子にとっても良いチャンスと、夫を日本に残して二人で渡独しました。海外生活にはずっと憧れがあり、本当は大学院卒業後にアメリカでポストドクをしたかったのですが、うまくいきませんでした。その時は結婚直後であまり落ち込まなかったのですが、これが布石となって、今回の件は夫や家族の了解を得られやすかったかなと思っています。



カールスルーエ工科大学にて
(2011.7.4)

<塚田由紀(つかたゆき)プロフィール>

女子中・高卒業→日本女子大学家政学部物理専攻→千葉大学大学院画像工学科修士課程→東京工業大学大学院総合理工学科・博士課程(在籍中に結婚)→独立行政法人交通安全環境研究所にて任期付研究員→3年後、正規職員採用、すぐ出産→(子供が小学校入学)子連れ海外赴任